

# JEAS 環境アセスメント士 紹介

このコーナーは、各支部の推薦により環境アセスメント士を紹介しています(五十音順に掲載)。

JEAS  
in  
Osaka

## 環境アセスメント士として

私が勤務する株式会社日建技術コンサルタントは、総合建設コンサルタントとして、上下水道、河川、道路、都市計画、廃棄物処理施設等の計画・設計部門、監理部門、測量部門、環境調査部門など、幅広い分野で東北から九州・沖縄まで全国で業務展開しています。

私が所属する環境調査部は、環境分析、土壌汚染調査、環境アセスメント



(株)日建技術コンサルタント  
TEL.06-6744-7252  
<http://www.nikken-gcon.co.jp/>

を行っており、試料採取からダイオキシン類等の各種分析、調査結果の解析など、一連の業務すべてを自社で行えることから、効率的に業務を実施しています。

私は入社以来、環境アセスメントにかかわる業務を主に担当し、調査計画の立案から現地調査、環境影響予測・評価まで、一連の業務にかかわっています。

私は2005年度に生活環境部門で環境アセスメント士を取得しました。

環境アセスメント士となって、これまで、環境アセスメント士が資格要件となっている業務は知らず、資格の知名度について色々考えることもありましたが、このたび、初めて資格要件として採用されている業務を受注できました。

この業務は、条例アセスの対象事業

生活環境部門(2005年)  
岩崎哲也



となる「ごみ処理施設」を整備するためのアセス方法書を作成する業務でした。発注担当者の話では、「環境アセスメント士という資格の存在をインターネットでたまたま見つけて、調べた。」とのこと。この話を聞いて、資格名のインパクトの大きさと、この資格を知ってもらえれば、資格要件として採用される可能性が高いのではないかと思います。

このような実例があるように、今後、環境アセスメント士の資格の知名度を上げるためには、「私たち環境アセスメント士自身が売り込むこと。」と、「環境アセスメント士として相応しい仕事をする。」を常に意識して日々の業務に取り組むことが必要であると強く感じました。

JEAS  
in  
Gifu

## 環境アセスメントという仕事

財団法人岐阜県公衆衛生検査センターは1973年の設立以来、岐阜県を本拠地に、環境分析事業を核とした環境関連事業を展開してきました。また、岐阜県知事から岐阜県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、低炭素社会実現に向けた普及啓発事業などにも取り組んでいます。



(財)岐阜県公衆衛生検査センター  
TEL.058-247-3102  
<http://www.koeiken.or.jp/>

私は、主に廃棄物処理施設の設置に係る生活環境影響調査で大気汚染・騒音・振動などの調査・影響予測などの業務に携わっています。また、地球環境問題に関連して、地域内温室効果ガス排出量の算定や環境基本計画策定支援などにも関わっています。

入社した頃は、地図・資料の収集などの補助的な作業が大半でしたが、徐々に、調査・予測を経験し、現在では計画準備から調査書の作成までを担当しています。

調査・予測の技術を深めるために私が研修会などに参加しながら業務にあたった頃、環境アセスメント士が創設され、資格の取得が自らの業務知識と評価技術を客観的に評価する数少ない機会と感じたため、受験を決意しました。

環境アセスメントを遂行するには、

生活環境部門(2007年)  
鈴木良樹



広く全体を見渡す視点と重点的に深く追求する視点の双方が必要と考えます。そのため、環境アセスメント士には幅広い知識の引き出しとそれを使いこなすことが求められます。

私はこれまで試行錯誤を繰り返しながら、さまざまな方の助言を受けて業務を遂行してきました。これまで自分の業務を振り返ることは多くありませんでしたが、環境アセスメント士の受験を通じて、効率よく業務に必要な知識を整理し、技術者としての課題を見出すことができたと思います。

今後も、CPD制度を活用した自己研鑽の継続によって業務の質を高め、自らの技術向上とともに、環境アセスメントの信頼性維持に少しでも貢献したいと思っています。